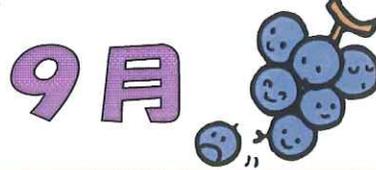


か が や き



～つばやき～ 空を見ながら

桃組「せんせい!!」

くもがちがうね.....」

「色もちがう.....」

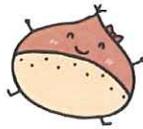
そうですね、いつの間にかすっかり秋色ですね!

朝晩はすっかりしのぎやすくなりました。日中はまだまだ残暑が厳しい今日この頃です。

秋! 保育園生活も充実期を迎えましたね、運動会、遠足と楽しいことがいっぱい! 今までためていたエネルギーが吹き出るように、活発になりますね。しかし、この時期は夏の疲れが出やすくなります。まだまだ、新型インフルエンザの心配もされますので、子どもたちの体調管理の方もよろしくお願い致します。 安倍

9・10月行事予定

- 9月1日(火) 県給食担当者研修会 2日まで
- 2日(水) パースデー訪問
交通安全教室(市役所)
- 8日(火) 礼拝
- 10日(木) 給食研修会
- 12日(土) 保護者会講演会
- 16日(水) なかよしキャラバン
- 19日(土) 運動会
- 23日(水) 交通安全大会(ウサノピア小ホール)
日本太鼓(梅・桃参加)
- 24日(木) 身体計測
マスコット配布
- 29日(火) 親子遠足(梅、桃、桜)
(アフリカンサファリー)
未満児は園外保育
中学生体験学習 10/1まで
- 10月1日(木) ケア・ハウス訪問
- 2日(金) パースデー訪問
- 6日(火) 誕生日会(9・10月生)
- 8日(木) 礼拝
- 14日(水) なかよしキャラバン
- 21日(水) 感性を育てる研修会
- 22日(木) 身体計測
- 25日(日) 保育士会自主研修会



「子どもの手をどう育てる」

「靴の紐が結べない」「りんごの皮がむけない」こんな子どもの不器用さが問題になったのは40年近くも前、ちょうど親世代が子どもの頃だ。今や子どもの靴紐に変わりマジックテープが使われる時代。暮らしの中で「手」の出番は少なくなるばかりだ。子どもの好奇心や社会性の発達までリードし、第二の脳と言われる手、知力の源の手をどう育てるか。

ナイフなども危ないし、教えるのにも手間がかかるとつい遠ざけてしまいがちだが、それだとかえって大怪我につながる。意欲があって取り組みれば、2歳の子でもコマが回せるようになる。逆に機会がなければ、6歳でもコマどころか、箸も使えない。子どもはチャンスさえあれば、大人を「さすが」と感心させる場面をたくさん見せてくれる。

砂や泥をすくったり、こぼしたりして遊んでいた手は、3歳を過ぎると泥や砂で団子を作ったり、ケーキを作れるようになる。遊ぶ中で、ものの性質を知り、使いこなせるようになったからだ。十分遊ばない子どもは5歳になっても形あるものはつけれない。

手は人間関係も育てる。2～3歳で誕生した「つなぐ手」は、5～6歳になるとダイナミックな共同作業に発展。砂場で共同で山をつくり、「ここにトンネルをつくろう」とアイデアを出し合って遊べるようになる。

早く子どもに鉛筆を持たせ、字を書かせようと前のめりになる親の姿も少なくないが、字を書くために鉛筆を操作するには、手の微妙な動きと感覚が必要だ。鉛筆をいきなり持たせるより、泥んこ遊びをして手の動きと感覚をそだてる方が近道なのだ。

手は、子どもたちの生きる力の土台であり、自立の要であることを忘れてはいけない。 徳島大学、丸山尚子氏講演会より

気持ちのよい秋風の中、体を動かしたくなる季節がやってきました。スポーツの秋.....そして保育園の運動会ももうすぐです。

最近、友だちとの仲も深まり一緒に活動することを楽しんでいます。全身を動かして表現する楽しさや友だちと力を合わせて協力しながら運動会に向けて楽しく取り組んでいきたいと思ひます。

昨年は4年に一度のミニオリンピック運動会ということで子どもたちも保護者の皆さんもとても燃えましたね。

今年も昨年に負けないうらい盛り上がる運動会にしたいと思ひますので、当日は子どもたちの成長した姿をご覧いただきながら、たくさんのご声援をお願いいたします。 濱田

アフリカン・サファリーへ いこう!いこう!

9月29日(火)梅、桃、桜組さんは親子で貸切りバスに乗って出かけます。色んな動物さんにお会いするのをお楽しみに!! 雨天の場合「おもちゃ王国」です

1さいになりました

はじめてのおたんじょうび

おめでとう



土用干し すっぱ〜い!!!

天候不順のためなかなか干すことが出来なかった梅干しの土用干しを行いました。梅・桃組さんで、ばらだにきれいに並べられて、テラスに干されたました。あたりには、すっぱい梅独特のにおいが.....思わず、食べたくなりそうです。「せんせい、つばが出る!」と。赤く色づいて、本当においしいそうです。

3日ほど干してまた、漬け込みました。



おばけともだち！！

どきどきキャンプ

平成21年8月28日～29日 湯布院山荘「四季」にて

今年も楽しみにしていた野外キャンプに行ってきました。
 湯布院の緑がいっぱいの山荘「四季」では、荒金のおじいちゃんとお兄さんがみんなを待っていて下さいました。
 心配していた雨も、子どもたちの元気なパワーに圧倒されたようで、すぐにやみ、楽しい2日間を過ごすことができました。

入村式では、荒金のおじいちゃんから、順子おねえさんに女の子が産まれたというお話を聞き、みんなで「おめでとう！」を、お祝いの言葉を届けることができました。

さあ、いよいよカレー作りに挑戦！人参、玉ねぎ、じゃがいもの3つのグループに分かれてクッキングの始まり、はじまり・・・初めて使うピーラーや包丁を持つ子どもたちの顔は、とても真剣でした。「先生、涙が出てきた～」と目にいっぱい涙をためながら玉ねぎを切っていた子どもたち、とても上手な包丁使いにびっくり！途中で、あきらめることなく最後までやり遂げることができました。おいしいカレーができるまで、みんなで沢までお散歩！普段歩くことのない山道をロープを持ちながら慎重に歩いていました。流れてくる水の冷たさに驚いたり、カニ探しに夢中になったり・・・おいしい空気の中での楽しいひとときでした。

お友だちと入ったドラム缶風呂「きもちよかったぁ」と大満足。薪で炊いたおかまのご飯はとても美味しく、自分たちで作ったカレーをかけての味は、格別だったようです。「ねえ～ぼくの人参おいしい？」「私が切ったじゃが芋たべて！」と友だち同士でかわいい会話が聞こえてきました。

あたりが次第に暗くなり、ドキドキ、ワクワクしたおばけの部屋では、ちょっぴり怖くて泣いちゃったけど、勇気をだしてもらった「勇気のしるし」を胸に大喜びでした。

キャンプファイヤーでは、たいまつを囲んで歌ったり、踊ったり・・・それはそれは楽しいひと時でした。ボランティアのお父さんたちも一緒に楽しんで下さり、みんなの気持ちがひとつにつながったような気がします。

子どもたちを優しく送り出し、迎えて下さった保護者の方のご協力があり無事に2日間を過ごすことができました。子どもたちにとって、友だちと過ごした時間や、いろいろなことに挑戦した勇気は、かけがえのない宝物になったことでしょう。

本当にありがとうございました。

徳永

